

Spesso mi è stato chiesto quale sia la qualità del carattere femminile che più ammiro e apprezzo. Senza alcun dubbio ho risposto : il coraggio. In nome di Ipazia: Riflessioni sul destino femminile : Maraini, Dacia

D A C I A M A R A I N I ダーチャ・マライーニ氏を 囲んで

— 文学とフェミニズム —

日時：6月17日(月)

15時30分～17時30分(15時開場)

会場：北海道大学

人文・社会科学教育研究棟 W201

事前申し込み不要

ダーチャ・マライーニ氏は第二次大戦後のイタリアを代表する女性作家です。来日の機会に合わせて、マライーニ氏のご著作やその背後にあるフェミニズム思想などについて、お話をうかがいます。

双方向で通訳者をつけ、質疑応答の形式で進めます。ご来場の皆様の活発なご発言を期待しています。



ダーチャ・マライーニ氏 (Dacia Maraini) 1936年フィエーゾレ生まれ。作家・詩人・劇作家。民族学者の父フォスコ・マライーニとともに1938年来日。終戦までの約2年間を名古屋の強制収容所で過ごし、1945年帰国。1962年『バカンス』でデビュー。1963年に『不安の季節』でフォルメントール賞、1990年『シチーリアの雅歌』でカンピエッロ賞、1999年 Buio(未邦訳)でストレーガ賞受賞。昨年11月、幼少期に日本で送った壮絶な2年間を描いた“Vita mia”(我が人生)を出版。



問い合わせ先：北海道大学大学院文学研究院
映像・現代文化論研究室 水溜真由美
maraini.sapporo@gmail.com